

日刊 日二十二月十



常識講座 日刊 日二十二月十 日刊 日二十二月十

常識講座

ヴァージン・ソールは 處女地、未開拓地のこと...

市民を裏切る陳情に

笑はせる成功の吹聴 飽まで愚弄する彼れ等の態度

市民の激昂を更に高める

平市會が多數を制する議員に 上つて市民多年の希望を裏切...

十二圓六十八錢 米の狂騰

平市農業者に於ける昨二十 一日の俵米共販は百六依に過...

夏井國婦會で 勞銀献金

河川改修に働き 石城郡夏井村の大字藤間部落...

江田の紅葉

そろく見頃 東京方面からの住復一割引 信號所跡の臨時停車



紅葉の江田、磐越 東線小川郷から川 前線に至る夏井川...

江田信號所時刻表 table with columns for '江田發' and '平着' and rows for '午前' and '午後'.

傑僧日蓮を懐古し

時難克服の講演會 淨風教會平支部の主催で

明廿三日マルトモに

改修工事に従事し得たる賃金 全部を國防費に献金すると...

飲んだ相手を 斧で滅多打ち

昨夜赤井村の福島炭礦で 被害者は意識不明の重態

飲んだ相手を 斧で滅多打ち

石城郡赤井村の福島炭礦坑夫 昨夜赤井村の福島炭礦で...

非常時國民精神講演會

講師 本部長橋本顯信氏外數名 主催 八品 淨風教會平支部

四人斬り 起訴收容

石城郡内郷村の白水字山の入 地内道路で去る十七日午後八...

正しい叫び 危い所を阻止

平小鐵道問題 地元の請願が響いたか

河原政府委員の答、この請願書が陳情と共に出...

此のことに付ては少し我々の 調査は今まで足りなかつた...

産業

味噌醤油の原料にヒエ

東北振興の見地から同地方に多く生産される稗の加工利用研究に着目した農林省ではこれを米及び小麦の代用として味噌や醤油の製造を試みる事となり此の試験實施方を岩手縣に委託し同縣では農産加工の研究家である縣立農學校教諭小原哲二郎氏に依頼し試験に着手した豫備試験の結果味噌醸造用としては稗にはアスペルギルスオリゼが極めて良く繁殖し稗は米麹に比し外觀も酵素力も遜色なく殊に江戸味噌の如く米麹を多量に必要とする醸造には極めて經濟的で製法の味も良好であること、また醤油醸造用としては稗は蛋白質の含有量始め小麦に勝る組成を有し價格低廉でしかも豆麹の製造に際しヒエの粉末を混和すれば小麦その他穀類の粉末を混和した時に比し極めて良好且つ速かに麹菌の繁殖を促進する事が認められた。

従つて此二つの試験は半ば成功の域に達したものと見られ此實用化に就ては大に期待されてゐるが従來貧乏の食物以外には小鳥の餌にしかならぬと考へられてゐたヒエが江戸味噌の材料として重用され江戸つ子の味を喜ばす日も遠くないことではなからう。

本誌試験擔當の小原教諭は豫備試験の結果を更に究明の爲め味噌製造に就ては製麹酵素力検定、ヒエ麹と米麹を使用したもの、味噌熟成中の變化の比較、製品の商品比較分析、原價計算、醬油製造に就ては小麦代用と

して醸造中の變化、製品鑑評分析、收量、生産費の各項目に關し學術的研究を進めてゐる(元リ)

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

高久病院

平市出町 電話五二三番

院長 醫學士 高久忠

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

木村病院

平市新川町九一 電話一六四番

院長 醫學博士 木村寅次郎

婦人科、外科、藥劑師 大岩俊雄

愈々防寒具の御用意を!

秋-冬-秋

大人...子供 帽子

新柄 毛糸服 實用 毛シャツ 綿製品

豊富陳列

ツルヤ

平四・電一四〇

生公堂

山野邊藥局

平市 五丁目角

四〇瓦入 五十錢
八〇瓦入 九十五錢
一〇〇瓦入 一四十五錢

多田井質店

平市大工町 電話五九一番

債券 公債 兩替 金融

平病院

平市元共濟病院跡 (電話六四一番)

院長 醫學博士 鈴木定藏

内科、小兒科、皮膚泌尿器科、外科、物理療法科、藥劑科

部長 醫學博士 鈴木定藏
部長 醫學士 池谷宗三郎
技師 岡田重德
部長 藥劑師 吉本孝平

診療時間 每日午前八時より午後九時止
夜間診療に從事す(急患は此時間限らざる)

往診隨時、病室完備 (自炊の便あり)

横山商店

債券部

町間仲市平

〇一六〇九東京東替振
番一七二話電

日下家政婦會

便利で 經濟な 派出婦を御利用下さいませ

身元確かで品行方正ですから 何をお任せしても安心です

會員(同志)の 加入を御誘ひ 致しませぬ 御加入を願ひ 御加入を願ひ 御加入を願ひ

◎ 日下家政婦會

會長 日下すい子

電話 七二三番

平市町十八(西村屋横町)

北川外科

晝夜診療

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科

平市新川町二七(電四六四)

醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保

入院デキマス

益屋商店

和洋銅鐵、金物問屋

九九・九電

喜久水

新いわき新聞社

一發印刷物も御引受け致します

寄八二七話電